

せつめい上手になるう

「すがたをかえる大豆」

国分 牧衛

めあて

だんらくのつながりを考えて、文しょうの組み立てを読みとろう。

はじめ

大豆のせつめい

いろいろな食品にすがたをかえる大豆
そのままでは食べにくく、消化にもよくない大豆

中

大豆をおいしく食べる五つのくふう

いったりたりしてやわらかくおいしくするくふう
こなにひいて食べるくふう
えいようをとり出して、ちがう食品にするくふう
生物の力をかりて、ちがう食品にするくふう
とり入れる時期や育て方をくふう

終わり

全体のまとめとかんそう

いろいろなすがたで食べられる大豆
大豆のよいところに気づき、食事に取り入れてき
たむかしの人びとのちえ

学習した文しょうの組み立て

・「はじめ」「中」「終わり」とそのやくわり
・五つのれいをあげて、くふうをせつめいしている。

3 / 17 時間目 指導略案

使用するワークシート…

活動のねらい

段落のつながりに留意しながら、説明文の構成を読み取らせる。

1 学習計画表から本時のめあてを確認する。

2 教材文「すがたをかえる大豆」の形式段落に小見出しを付け、「はじめ」「中」「終わり」の三つの部分に分ける。

【発問】形式段落に分け、小見出しを付けます。どんな方法で付けたらよいでしょう。

第一段落から第三段落までの小見出しの付け方を全体で考えさせる。「ありの行列」で学習した見出しの付け方を想起させ、題名に関する語を含む文章や段落の初めや終わりの部分に、小見出しの要素が含まれていることを押さえる。第四段落以降は、自分で考えさせ、全体で確かめる。

【発問】形式段落を「はじめ」「中」「終わり」の三つの部分に分けましょう。

小見出しなどの叙述を手掛かりに、それぞれの段落が、「はじめ」「中」「終わり」のどの部分に入るのかを説明させ、話し合わせる。

おいしく食べるための工夫の事例やまとめの段落は、比較的分類しやすいが、第二段落は、「はじめ」と「中」のどちらに含まれるのか、判断が難しい。判断した理由を説明させることで、どんな内容が「はじめ」「中」「中」に合うのかを考えさせ、3の活動につなげる。

3 「はじめ」「中」「終わり」の役割を考える。

黒板に整理した、それぞれの意味段落の小見出しに共通する内容を考えさせることで、「はじめ」「中」「終わり」の役割をつかませる。

評価 段落相互の関係を考え、文章の構成を説明したり書き表したりしている。

4 次時について知る。

次時は、内容を詳しく読み取っていくことを確認する。